

KAGAWA Diversity & Inclusion

Contents

- ◎香川大学 D&I フェスタ 2023 開催
- ◎D&Iを学ぶ
- ◎女性研究者支援
- ◎女子中高生の理系進路選択支援プログラム
- ◎ワーク・ライフ・バランス支援
- ◎INFORMATION

ごあいさつ

ダイバーシティ推進室室長 高木由美子

(副理事・教育学部教授)



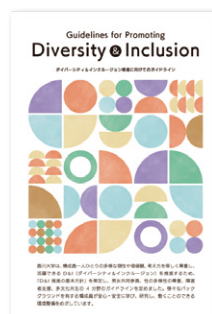
香川大学にダイバーシティ推進室が設置されたのは2022年4月です。同時期に制定されたD&I推進委員会の下、バリアフリー支援室、保健管理センター、インターナショナルオフィスおよび各部局が連携し、様々な活動を行っています。2023年度の香川大学 D&I フェスタは、2023年10月25日にバリアフリー支援室のお世話で(株)ユニバーサルスタイル代表取締役の初瀬勇輔氏に「パラスポーツから考える共生社

会」についてご講演をいただき、盛況でした。

D&Iのさらなる推進のため、2023年6月に実施した「D&Iに関する全学調査 Vol.2」の調査結果を受けて、2023年12月に実施したD&I研修「性の多様性を理解する—大学における支援を考える」の実施の際に、合わせてD&I推進のための広報を行いました。他にもD&Iの視点から、香川大学の学生支援や施設のあり方などを調査・検証・提案する学生プロジェクトなど多様な事業を展開しています。今後みなさんと共に、D&I推進を通じて、誰もが安心して教育研究に取り組むことができるキャンパスを作っていきたいと考えています。

D&I 推進に向けてのガイドライン

様々なバックグラウンドを有する構成員が安心・安全に学び、研究し、働くことのできる環境整備をめざし、男女共同参画、性の多様性の尊重、障害者支援、多文化共生の4分野に関する「D&I推進に向けてのガイドライン」を2023年3月に策定しました。詳細はHPでご覧いただけます。また、リーフレットを作成し各部局に配布している他、ダウンロードも可能です。



REPORT

香川大学 D&I フェスタ 2023

昨年度に引き続き、「D&I推進宣言」をした10月に、全構成員（学生・教職員）を対象とした啓発イベント「香川大学D&Iフェスタ2023」を実施しました。2023年6月に実施した「D&Iに関する全学調査vol.2」の調査結果を踏まえ、今年度のメインテーマを「障害者支援」としました。



D&I セミナー 第1部 講演「パラスポーツから考える共生社会」

10月25日(水)、611講義室(幸町北キャンパス6号館1F)にて、「パラスポーツから考える共生社会」をテーマとした講演を対面形式で実施しました。

まず上田夏生学長から開会の挨拶が述べられ、初瀬勇輔氏(株)ユニバーサルスタイル代表取締役、NPO法人日本視覚障害者柔道連盟副会長、(一社)日本パラリンピアンズ協会副会長より、障害やパラリンピック、そして共生社会を実現するための視点などについて、動画や音楽(ラップ)を交えながら、お話をいただきました。



初瀬氏

アンケートより

- ◎“ダイバーシティは現実、インクルージョンは選択”という言葉が、心に響いた
- ◎“障害は社会の側にある”という考え方が印象に残った

D&I セミナー 第2部 D&I キャンパスプロジェクト中間報告会

第1部の講演に続き、D&Iキャンパスプロジェクトメンバーによる「D&Iの視点から考える生理用品・ルッキズム・学生寮」についての中間報告が行われました。

このプロジェクトは、D&Iの視点から香川大学の学生支援や施設のあり方などを調査・検証・提案するもので、学部生から大学院生まで幅広いメンバーが昼休み時にD&Iスペースに集まって活動をしています。今回は、各班で実施したアンケート調査結果や今後の課題等について、メンバーから報告がありました。



中間報告会の様子

アンケートより

- ◎誰もが、よりよく生活していくためにどうすればよいかを考えるいい機会になった
- ◎香川大学の学生寮や生理用品の現状を知ることができた

D&Iしゃべり場@あしたプロジェクト

10月11日(水)、D&Iスペース(幸町北キャンパス5号館1F)にて昨年度のD&Iフェスタ2022でお話をいただいたあしたプロジェクトと学生との“D&Iしゃべり場”を開催しました。

まず、あしたプロジェクト代表の谷昂頼氏、副代表の福井瑞穂氏から、あしたプロジェクトを始めた経緯や現在の活動についてお話をいただいた後、あしたプロジェクトが制作したDVD「生徒のためのLGBT ーワタシの性を生きるー」を視聴しました。

視聴後、参加者と谷氏、福井氏とで意見交換が行われました。少人数での会でしたので、気軽に質問をしたり、普段なかなか話せないことを話せる場になったのではないのでしょうか。

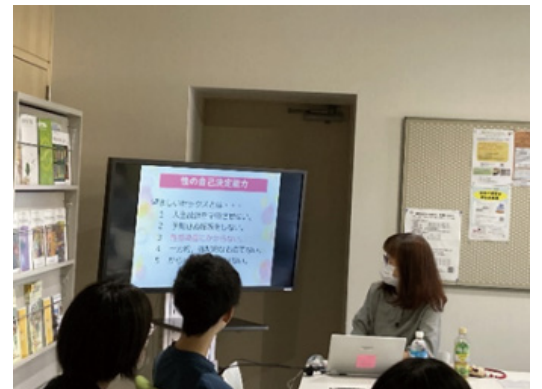


福井氏(左)、谷氏(右)

D&Iランチトーク

10月17日(火)の昼休みを利用して、D&Iスペースで学生を対象とした“D&Iランチトーク”を実施しました。「性感染症とSRHR (Sexual and Reproductive Health and Rights)」をテーマに、塩田敦子氏(香川大学医学部教授/附属病院女性外来診療部・周産期女性診療科医師/ダイバーシティ推進室副室長)を話題提供者にお迎えしました。

塩田氏から、テーマに関するレクチャーがあり、その後、意見交換・質疑応答の時間に移りました。普段、疑問に感じていることを中心に、さまざまな質問や意見が出され、あっという間に終了の時間となりました。また、テーマに関連したYou TubeのサイトやLINE等でも可能な相談窓口、無料で検査ができる医療機関などの情報提供をいただきました。



塩田氏

関連イベント

バリアフリー支援室

フェスタ期間中、7回の車椅子講習会を開催しました。



グローバル・カフェイベント

10月26日(木)にフランスの国際機関ITERに勤務する木村貴一氏による公開授業、10月31日(火)に、ブルネイとアメリカから帰国した学生による留学報告イベントを開催しました。



REPORT

D&Iを学ぶ

2023年度は、全学共通科目として「D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）入門」、「多様なキャリアを考えるー男女共同参画の視点から」の2講座をダイバーシティ推進室が担当しました。また、教職員向けには、性の多様性をテーマにD&I研修を対面とオンデマンドで実施しました。

D&I入門（第1クォーター 火曜1時限目）

この授業では、学内外の教員によるオムニバス形式によって、ジェンダー、障害、多文化、性の多様性、大学、企業などの幅広い視点からD&Iについて学びます。

回	講義日	授業タイトル	担当講師	所属
1	4/11(火)	オリエンテーション	柴田潤子 黒澤あずさ	ダイバーシティ推進室 室長・法学部教授 ダイバーシティ推進室 特命准教授・コーディネーター
2	4/18(火)	障害を考える	坂井聡先生	教育学部教授・バリアフリー支援室長
3	4/25(火)	多文化共生を考える	植村友香子先生	地域・産官学連携戦略室特命准教授
4	5/9(火)	ユニバーサルデザインを考える	中島美登子先生	創造工学部准教授
5	5/16(火)	ジェンダーを考える	園部裕子先生	経済学部教授
6	5/23(火)	性の多様性を考える	葛西真記子先生	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授
7	5/30(火)	見えない生きづらさを考える	長谷綾子先生	医学部臨床心理学科准教授
8	6/6(火)	ダイバーシティマネジメントを考える	吉澤康代先生	地域マネジメント研究科准教授

「多様なキャリアを考えるー男女共同参画の視点から」(第1クォーター 木曜5時限目)

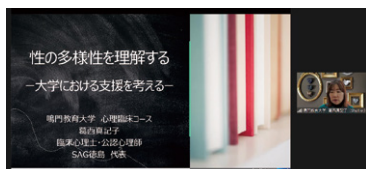
「男女共同参画」を基軸とした価値観をキャリア・ライフデザインにどのように位置づけていくかを考えるための講義を提供します。多様な分野で活躍している主に実務家によるオムニバス形式で構成されています。

回	講義日	授業タイトル	担当講師	所属
1	4/13(木)	「男女共同参画推進社会」について総論～どんな個人も尊重して生きられる社会を目指して」	永田真一先生	外務省在ジュネーブ国際機関日本政府代表部 政務社会部専門機関班 参事官
2	4/20(木)	「ジェンダーの視点で考える『社会』と『法』」	佐藤倫子先生	香川県弁護士会
3	4/27(木)	「裁判所におけるキャリア」	山形沙稚子先生 高橋潤平先生	高松地方裁判所総務課長補佐 高松地方裁判所民事訟廷管理官
4	5/1(月)	「誰もが生き生きと働くために～男女共同参画の視点から働き方を考える」	澤渡恭子先生	香川労働局雇用環境・均等室長
5	5/11(木)	「子育て家庭の現状と課題、必要な支援とは」	中橋恵美子先生	NPO法人わははネット理事長
6	5/18(木)	「SRHR(セクシャルリプロダクティブヘルス・ライツ)を知りましょう」	塩田敦子先生	医学部教授
7	5/25(木)	「技術者を取り巻くさまざまな環境と自分自身で描く未来予想図 ～ライフプラン設計～」	岩井綾先生	復建調査設計株式会社 四国支社 河川設計課係長
8	6/1(木)	「企業におけるダイバーシティについて」	杠明日美先生	アオイ電子株式会社 高松本社 商品開発部 課長代理

D&I研修「性の多様性を理解するー大学における支援を考える」(12月21日(木)開催)

2023年6月「性的指向及びジェンダー・アイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されたことを踏まえ、今年度は「性の多様性を理解するー大学における支援を考える」をテーマとして、教職員を対象に研修を実施しました。

まず、上田夏生学長から開会の挨拶が述べられ、講師の葛西真記子氏(鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授)による講義が行われました。「なぜ大学で性の多様性を理解する必要があるのか」、「大学でできること」、「学生対応で注意を要するポイント」について、具体的な事例を交えながら、お話をいただきました。閉会挨拶では、ダイバーシティ推進室の高木室長より、「D&I推進に向けてのガイドライン」およびD&Iに関する相談窓口についての情報提供がありました。



アンケートより

- ◎正しい知識を身につけることは大切だと痛感した
- ◎学生の支援については、学生と共に考えていくという姿勢が重要だということが印象に残った

REPORT

女性研究者支援

平成30年度 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に「四国発信! ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト」(代表機関:徳島大学、共同実施機関:香川大学、愛媛大学、高知大学、鳴門教育大学、徳島県立工業技術センター、徳島県立農林水産総合技術支援センター、アオイ電子株式会社、協和株式会社)が採択され、本学では、様々な女性研究者支援を行っています。

医学部 倉原琳准教授が、「2023年度ダイバーシティ推進共同研究表彰」を受賞

平成30年度採択 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」により実施したダイバーシティ推進共同研究表彰制度において、医学部倉原琳准教授が、「2023年度ダイバーシティ推進共同研究表彰」を受賞され、表彰式が、2月22日(木)、医学部学部長室にて行われました。

研究テーマ

- 2019-20年度 肺動脈肺高血圧の新規治療薬の探索
2021年度 冬虫夏草*Ophiocordyceps sinensis*由来成分による肺高血圧症の新薬スクリーニング
2022-23年度 凝固系を標的とする新たな消化管線維化狭窄治療薬の開発

※「ダイバーシティ推進共同研究表彰」制度とは、ダイバーシティ推進共同研究支援制度を利用し、四国地域全体の女性研究者の研究力強化に特に貢献した女性研究者を顕彰し、優れた研究成果の持続的創出と女性研究者のさらなる活躍をはかることを目的として表彰するものです。

表彰式の様子 右から
西山医学部長、倉原准教授、高木ダイバーシティ推進室長、黒澤同コーディネーター



医学部 倉原琳准教授

研究力伸長セミナー
徳島大学・香川大学 連携★統計セミナー Part2 中級編

9月12日(火)、「2023年度研究力伸長セミナー 統計セミナー・Part2」をZoom配信で開催しました。

徳島大学主催のPart1初級編に引き続いての学内外からの参加者も多く、105名の申込がありました。講師の大阪公立大学大学院 医学研究科 医療統計学教室 教授 新谷歩氏から、研究者が陥りやすい統計解析上の留意点について、具体的な観察研究例を示しながらお話をいただきました。特に今年度は、多変量と繰り返し計測されたデータの解析について詳しくご講義をいただきました。

四国発信!ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト
シンポジウム2023

12月5日(火)、藤井節郎記念ホール(徳島大学)で「四国発信!ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクトシンポジウム2023」が開催されました。本シンポジウムは、四国ダイバーシティ推進委員会主催で、毎年開催しているもので、今年度は、「四国から躍進!はばたけ女性研究者〜6年間の成果と今後〜」をテーマとしています。本学からは、上村忍氏(創造工学部教授)が四国5大学の女性研究者によるパネルディスカッション「事業成果から得られたキャリア形成の試み」に登壇しました。



香川大学女性研究者の会

部局を超えて女性研究者が交流し、女性研究者の研究教育活動環境向上のための全学横断的な支援を考える場である女性研究者の会。12月26日(火)、オンラインで宇根山絵美氏(岡山大学研究推進機構 学術研究推進本部長・URA)による「岡山大学のダイバーシティ推進と研究者支援」の講演後、「望まれる研究支援」をテーマに意見交換を行いました。



国際学術雑誌論文投稿費・英文校閲費支援

女性リーダーの育成を目的として、女性研究者が研究成果を国際的な学術論文として発表するための外国語論文投稿費用ならびに英文校閲費用を補助しています。本補助採択者の国際的な評価となる研究業績を向上させるなど、研究者としての成長とスキルアップを期待し実施するものです。2023年度は、論文投稿3件、英文校閲3件の支援をしました。

ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン2023

3月16日(土)、四国発信!ダイバーシティ推進研究環境調和推進プロジェクト「ダイバーシティ推進研究交流発表会オンライン2023」が開催されました。本発表会は、四国ダイバーシティ推進委員会主催で毎年開催しているものです。本学からは、ダイバーシティ推進共同研究プロジェクトに採択された研究についての発表と、メタバースを活用したポスター展示がそれぞれ3件ありました。

研究発表	発表者	所属	発表題目
	倉原 琳	医学部准教授	凝固系を標的とする新たな消化管線維化狭窄治療薬の開発
	轟木 靖子	教育学部教授	「やさしい日本語」を利用した外国人住民の支援について - 四国地域の事例を中心に -
	野村 美加	農学部教授	瀬戸内海洋共生生態系固定微生物群の網羅的解析
ポスター展示	川人 潤子	医学部准教授	食べ物から注意を逸らす訓練の効果検討
	久保 栞	地域強靱化研究センター 特命講師	要配慮者マイ・タイムラインと避難行動シミュレーションが防災意識に及ぼす影響の実証分析
	高木由美子	教育学部教授	環境にやさしい新液体を活用した SDGs 材料の合成研究



REPORT

香川大学ダイバーシティ&サイエンス理系選択応援プロジェクト

2023年度 JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択され、香川県内の企業や自治体と連携し、さまざまな事業を実施しています。その一部をご紹介します。

サマースクール

7.22(土)@教育学部

前半のスマホ顕微鏡づくりでは、香川大学博物館で開催中の「保井コノ」展との関連で、研究に使用していた顕微鏡の話題から始まり、実際に作った顕微鏡で、ゾウリムシの動きやヒイラギの葉脈などを観察しました。

後半のキャリアトーク「なぜその道を選んだか?」では、まずこれまでの人生を振り返るライフラインチャート(キャリアチャート)を実際に書いてみました。講師の吉澤先生(教育学部准教授)からはご自身のチャートを示しながら、具体的なキャリアの転換点についてもお話をいただきました。



ラボ訪問

7.30(土)@創造工学部

前半は、大学の授業で普段使っている設計のソフトを使って、パソコン上で建物の設計にチャレンジしました。3階建の建物を1時間弱で完成させるといふかなり難しい内容でしたが、学生さんがサポートに入り、力作が多数完成しました。

後半のキャリアトークでは、学部4年の豊山さん、修士2年の掛橋さん、そして釜床先生(創造工学部講師)からお話をいただき、時間内に答えきれないほどの多くの質問が出されました。最後は、実際の研究室やものづくり工房などを見学し、終了となりました。



出前授業

10.24(火)@豊浜中学校

観音寺市立豊浜中学校の3年生を対象に出前授業を実施しました。

前半は、有機合成化学・化学教育がご専門の高木先生(教育学部教授・ダイバーシティ推進室長)から、「第三の液体“イオン液体”」について、講義をしていただきました。講義の後には、森脇さんが実験指導を担当し、磁性イオン液体の合成実験を各自マイクロスケールにて行いました。森脇さんは、高木先生の研究室に所属する学部4年の女子学生で、後半の実験の前に、キャリアトークをしていただきました。理系選択の理由、大学での研究テーマ、研究室の様子、卒業後の進路などの具体的な話に、生徒の関心も高かったようです。

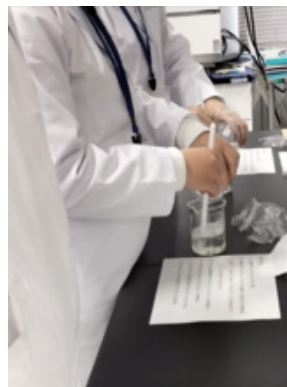


企業訪問

12.26(火)@勇心酒造(株)

最初に、会社の紹介として、勇心酒造(株)が、お米と独自の発酵技術から開発した「ライスパワーエキス」などの説明を受けました。その後、準備いただいた白衣を着用し、実際の開発室で、女性研究者と一緒に化粧水の試作を体験したり、肌診断で「ライスパワーエキス」の効果を体感したりしました。

後半のキャリアトークは、4つのグループに分かれて座談会方式で行いました。伊藤さん、二神さん、江本さん、三浦さん、4名の女性研究者から、進路選択の経緯、研究職の魅力・やりがいなどについてお話をいただいた後、質疑応答が行われました。



☆詳細は、特設 HP をご覧ください☆



REPORT

ワーク・ライフ・バランス支援

01 研究補助者配置制度

研究補助者配置制度は、研究者が育児・介護等を理由に研究を断念することなく、研究と育児・介護等とを両立させつつ、優れた研究を推進することができる環境をつくる目的で行っている制度です。2023年度は、8名の男女研究者にご利用いただきました。

02 入学試験における休日出勤時の託児

入学試験における休日出勤時の教職員の負担軽減にむけて、3ヵ月から小学校6年生までの託児を無料で実施しています。2023年度は、11月25日(土)の推薦入試と1月13・14日(土・日)の大学入学共通テスト、2月25日(日)の前期日程の4日間にわたって託児を設定し、お子さんの受け入れをしました。

03 ベビーシッターの利用費補助制度

子ども家庭庁(公益社団法人全国保育サービス協会に委託)が実施する「ベビーシッター派遣事業」により、「ベビーシッター派遣事業割引券」を利用できる制度の他、ベビーシッター等で利用できる育児補助金制度「ベネフィット・ステーション」があります。

04 介護セミナー

2月21日(水)「介護セミナー」を415講義室(幸町キャンパス北4号館1階)にて、本学教育学部との共催で実施しました。高松市地域包括支援センター地域支援係 森永智光氏、ファーマシ薬局たかまつ 岡村リナ氏をお招きし、ご講演をいただきました。DVDや寸劇で認知症の方

への望ましい対応事例を学んだ他、認知症の主な症状・それに至るまでの予防策、高松市の取り組み、受診・相談窓口などをお話いただきました。



左から森永氏、岡村氏

アンケートより

- ◎認知症とは何かについてから始まり、対応についても学ぶことができたため、今後の自分の生活に活かしていきたいと思った
- ◎認知症は支援する家族だけでなく、当事者も辛い思いをするということがわかった。近所の人や将来の自分の家族の支援のために今日の学びを忘れないようにしたい



05 香川大学 出産・育児・介護支援ガイド

香川大学の出産・育児・介護支援制度について、わかりやすくまとめたリーフレットを作成しています。ぜひご活用ください。



06 定時にかえろう!

香川大学では、男女共同参画の基本方針に基づき、教職員が教育・研究等と育児・介護の両立を支援するため、下記の事項に配慮をしています。

1. 育児等に取り組む教職員が参加する会議は夕方 17:30 以降、できるだけ開催しないこと。
2. 育児等に取り組む教職員より申し出があった場合には、教育・研究活動以外の業務負担の軽減に努めること。
3. 育児等に取り組む教職員がやむを得ない事情により会議の欠席・早退・遅刻、業務の代替等を求める場合にはできる限りの配慮を行うこと。(授業・会議の時間帯調整、代理出席の配慮、出席を強制しないなど)

INFORMATION

① D&I スペース

幸町キャンパス 北5号館1階、ダイバーシティ推進室とバリアフリー支援室の間に開設しています。D&Iについてちょっと話をしたい、イベントを開きたいといったことに使えるスペースです。ここでは、D&Iに関する資料や書籍を自由にご覧いただけます。ご利用の際は、事前に当室までお問い合わせください。



② ユニバーサルデザインマップ

香川大学のバリアフリー情報等を掲載している各キャンパスのマップがリニューアルされました。日本語版と英語版がありますので、ご活用ください。



日本語版

English

③ D&I 推進ムーブメント

香川大学の各部局・部署が実施している D&I 推進の取り組みを紹介する特設ページを当室の HP に設けました。D&I 推進のヒントが満載です。



④ 生理用品の配布

様々な理由で生理用品の入手がしづらい状況にある香川大学の女子学生を支援したいと個人の方や高松市からご寄付をいただきました。幸町キャンパス学生会館 1 階・北 4 号館の女子トイレ内に生理用品を置いてありますので、必要な方はご自由にお持ちください。また、当室でも配布をしています。



D&I 相談窓口

D&I相談窓口は、香川大学に通う学生のみならず、働く教職員のみなさんが利用できる窓口です。ここでは、本学のD&Iに関わる制度や仕組みについてのご相談をお受けします。どこに相談したらよいかわからない場合のご相談もお受けし、“コンシェルジュ”的な役割も担います。この窓口の他に、様々な相談窓口が学内外にありますので、そちらも併せてご利用ください。



編集・発行



香川大学
ダイバーシティ推進室

〒760-8521
香川県高松市幸町 1-1
幸町キャンパス北 5 号館 1 階
電話：087-832-1055 (内線：1055)
FAX：087-832-1057
MAIL：diversity-i-h@kagawa-u.ac.jp
URL：https://www.kagawa-u.ac.jp/diversity/